

# 2025（令和7）年度 第41期事業報告書

自 2025年4月1日  
至 2026年3月31日

公益財団法人 日中医学協会



## はじめに

### 研究助成事業：

日中医学協会、日本財団、中国国家衛生健康委員会（中国保健省）の三者間で締結された「日中笹川医学協力プロジェクト第六次協定書」に基づき、第六次日中笹川医学奨学金制度の第2期生として、第46期研究者を招請しました。これにより、本制度における第1期から第46期までの研究者の累計は延べ2,440名、受入機関は244機関、指導教官数および共同研究コースの日本側共同研究者数は計1,782名となりました。

### 学術会議開催事業：

2025年9月、中国・山東省青島市において、中華医学会との共同により学術シンポジウム「日中医学交流会議2025・中国青島－感染症の臨床的展望」を開催し、日本から座長、演者および協会役員計11名を派遣しました。本会議は中華医学会関連学術会議と同時開催され、その国際枠として位置づけられました。中国側の感染症分野の第一線で活躍する専門家が多数参加し、日本側専門家との活発な意見交換を通じて、相互理解と交流が一層深まりました。

### 医療協力事業：

笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）が中国国内で実施する（1）短期診療技術・技能研修、（2）中長期診療技術・技能研修、（3）日中共同フォーラム、（4）地域医療支援活動、（5）支部学術交流会の5事業は、日中の医療人材交流および政策提言の形成を目的として展開し、当協会と笹川同学会の共同事業として実施されています。これらの事業では、日中両国の専門家による講演および意見交換を通じて政策提言を取りまとめ、その成果を「笹川同学会モデル」として中国国家衛生健康委員会へ報告することを目的としています。2025年度は、当協会からこれらの事業に延べ5名の日本人専門家を派遣しました。

このほか、中国側の要請に応じて、看護師の訪日研修の手配や、中国主催のシンポジウムへの日本人専門家の派遣等も行いました。

### 広報事業：

機関誌『日中医学』Vol.40（電子ブック版）を発行しました。あわせて、2026年度からのオープンアクセスジャーナル化に向けた検討を行いました。

また本年は、財務基盤の強化および事業構造の見直しを目的として、「中長期ビジョン計画策定委員会」を新設しました。同委員会における検討は2026年度より開始し、中長期ビジョンの策定および持続可能な事業体制の確立に向けた検討を進めてまいります。今後は本ビジョンに基づき、中国政府機関との友好関係を堅持しつつ、事業拡大および新たな枠組みの構築に向けて取り組んでまいります。

関係各位におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 1. 当法人の現況に関する事項

### 1) 事業の経過及びその成果

2025年度は、ア研究助成事業、エ広報事業が日中関係の影響を受けた。イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業は、ほぼ計画通りに実施できた。

詳細は附属明細書に記した。

### 重要な成果

#### (1) 日中笹川医学奨学金制度（1987年より実施）

- 第六次制度の2期生となる第46期研究者を招請した。
- 「学位取得コース」で来日した奨学生68名中44名が、2026年3月までに日本の大学で博士学位を取得した。
- 「ポストドクターコース」「共同研究コース」の研究者も優れた業績を挙げ、日中両国の学術交流の促進と医療水準の向上に貢献している。

#### (2) 2025年9月に中華医学会（日本医師会がカウンターパート）と共同で《日中医学交流会議2025・中国青島—感染症の臨床的展望》を開催し、日本から座長・演者を派遣した。

#### (3) 中国の学術会議等への日本人専門家派遣や看護師訪日研修の手配など、日中間の医学・医療交流促進に関わる事業を積極的に推進した。

### 計画の未達

#### (1) 中国人医師・研究者招聘

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第10期研修生の招請延期（日中関係の影響による）
- ② 腎臓内科医師育成プロジェクトの休止（受入機関の事情）

#### (2) 医療協力事業6分類の内、下記事業が計画の未達となった。

- ① 医療の国際化に係わる事業：生活習慣病（高血圧）の予防と治療に関する日本式医療の検討遅延
- ② 医療関連訪日団等招請事業：JST「さくらサイエンスプログラム」による招請事業の中止（不採択）
- ③ 会員訪中団派遣事業の中止

#### (3) 広報事業

- ① 広報事業：機関誌『日中医学』第40巻第4号「特集：日中医学協会財団設立40周年のあゆみと展望」の発行を次年度に延期（日中関係の影響による）

## 決算概要

会計別	予算額 円	決算額 円	達成 %
公益会計	270,613,000	226,143,099	83.57%
法人会計	7,219,000	6,584,329	91.21%

## 2) 資金調達等の状況

主な収益	①日本財団助成金	167,127千円
	②会費/事業収益/受取寄附金	16,407千円

## 3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般正味財産経常収益	188,131,250	356,144,710	195,524,482	226,547,761
同評価損益等調整前 当期経常増減額	-16,248,492	-16,810,855	-10,378,911	-6,179,667
同当期経常増減額	-16,248,492	-16,810,855	-10,378,911	-6,179,667
同当期経常外増減額	—	—	—	—
指定正味財産増減額	—	—	—	—
正味財産期末残高	474,262,991	279,362,136	268,983,225	262,803,558

## 4) 主要な事業内容

事業	主な事業の内容
研究助成	<p>1. 日中笹川医学奨学金制度（第六次制度）</p> <p>① 第45期研究者（2024年度招請）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学位取得コース：第2年次助成10名（日本滞在中の者）</li> <li>・ポストドクターコース：第2年次助成9名</li> </ul> <p>② 第46期研究者（2025年度招請）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学位取得コース：10名</li> <li>・ポストドクターコース：7名</li> <li>・共同研究コース：9チームおよび個人3名</li> </ul> <p>2025年9月19日 共同研究者集会</p> <p>③ 第47期研究者（2026年度招請）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募 集 2025年1月9日～8月15日</li> <li>・学位取得コースの選考</li> </ul> <p>2025年10月4日 日中合同面接（10名合格）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポストドクターコースの選考</li> </ul> <p>2025年10月4日 日中合同面接（2名合格）</p>

<p>研究助成 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同研究コースの選考 2025年10月15日 共同研究等選考委員会 (9チームおよび個人3名合格)</li> <li>④ 第48期研究者(2027年度招請) ・ 募 集 2026年1月21日～8月14日</li> </ul>
<p>学会会議開催</p>	<p>1. 「日中医学交流会議2025・中国青島——感染症の臨床的展望——」 (中華医学会共催事業)</p>
<p>医療協力</p>	<p>1. 笹川医学奨学金進修生同学会(笹川同学会)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 短期診療技術・技能研修 ——腹腔鏡、高血圧予防・治療、呼吸器疾患、内視鏡、農村医師 レベルアップ、産婦人科</li> <li>② 中長期診療技術・技能研修 ——中医学、高血圧予防・治療、高齢者介護、歯科</li> <li>③ 日中笹川医学奨学金制度&lt;共同研究コース&gt;研究者成果報告会</li> <li>④ 日中ハイエンド医学フォーラム——2025年大健康フォーラム 「心身の健康」</li> <li>⑤ 地域医療支援活動 ——黒龍江省/中医診断治療、陝西省/消化器癌早期診断治療、 湖南省/腹腔鏡治療、日本/残留邦人健康相談</li> <li>⑥ 支部学会会議——華北地区等5地区、日本支部</li> </ul> <p>2. 専門家派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 笹川同学会事業(笹川同学会要請に基づく派遣; 延べ5名)</li> <li>② 「日中医学交流会議2025・中国青島」(11名)</li> <li>③ 中国主催シンポジウム(1名)</li> </ul> <p>3. 医療関連訪日団等の招請(6件)</p> <p>4. 中国人医療者の訪日研修支援(1件)</p> <p>5. 中国訪日団の表敬訪問への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 中国医師協会胸部外科学会代表団(赫捷学会長ら11名)</li> </ul> <p>6. 中日韓イノベーション協力センター顧問の推薦(中国大使館からの依頼)</p>
<p>広 報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 機関誌『日中医学』の電子ブック版の発行(第40巻1～4号)</li> <li>2. ホームページからの情報発信(WEBコンテンツの充実)</li> <li>3. メールマガジン『日中医学協会 News』の配信</li> <li>4. 機関誌『日中医学』のオープンアクセスジャーナル化の検討</li> </ul>

5) 会員に関する事項

種 類	当年期初	当期末	増 減
名誉会員	8 名	8 名	100 %
個人会員	238 名	221 名	93 %
法人会員	52 社	45 社	87 %
特別会員	3 社	3 社	100 %

※ 会員規程第9条第2項に基づき、2023年度から3年間会費未納の者（法人を含む）は、2026年3月31日をもって退会扱いとした。

6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長 事務局次長	岡田 光子	2022年7月1日 2013年4月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	末原 珠生	2023年7月1日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
事務局統括 事務局参与 事務局長	本田 伸吾	2023年7月1日 2022年7月1日 2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局顧問	松原 一幹	2026年1月5日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
嘱託職員	4 名		事務局事務	無期契約3名

7) 役員会等に関する事項

① 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2025.06.17	公益第25回定時評議員会（ZOOM WEB 会議） <u>決議事項</u> 2024年度計算書類（決算報告）の承認の件 旅費交通費規程改定の件 理事の選任の件 監事の選任の件 評議員の選任の件 <u>報告事項</u> 2024年度事業報告の内容報告の件 2025年度事業計画、収支予算の内容報告の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

## ② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2025. 05. 20	公益第 54 回理事会（ZOOM WEB 会議） <u>決議事項</u> 2024 年度事業報告の件 2024 年度決算報告の件 公益第 25 回評議員会（定時）の招集の件 副会長、顧問の選任の件 委員会委員の改選の件 <u>報告事項</u> 代表理事、業務執行理事等の 2024 年度職務執行状況の報告	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2025. 06. 17	公益第 55 回（臨時）理事会 <u>決議事項</u> 代表理事（会長、理事長）の選定の件 業務執行理事の選定の件 公益目的事業会計の運転資金への繰入の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2025. 07. 22	公益第 56 回理事会（決議の省略） <u>決議事項</u> 副会長の辞任に伴う補欠選任の件	全員同意・異議なし
2025. 12. 16	公益第 57 回理事会（対面会議） <u>決議事項</u> 公益充実資金等取扱規程の制定の件 <u>報告事項</u> 代表理事、業務執行理事等の 2025 年 4 月～11 月職務執行状況の報告 中長期ビジョン計画策定委員会の設立について 「日中医学交流会議 2025 青島」の開催について 日中笹川医学奨学金制度第 47 期研究者の選考結果について 日中笹川医学奨学金制度<ポストドクターコース>応募者過少について	全員一致可決
2026. 03. 03	公益第 58 回理事会（ZOOM WEB 会議） <u>決議事項</u> 2026 年度事業計画（案）の件 2026 年度収支予算（案）の件 事業計画書等に係わる内閣府への提出書について 委員会規程の改定の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

2026. 03. 03 (続き)	重要な使用人の補充選任について 2026 年度役員賠償責任保険契約更新の件 報告事項 今後の事務局体制について	全員一致可決 全員一致可決
----------------------	--	------------------

## 8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

## 9) 対処すべき課題

- 第六次日中笹川医学奨学金制度において、笹川同学会の提案により新設された「ポストドクターコース」は、募集定員 10 名を満たしていない。応募者数の増加に向けた早急な対策が求められる。
- 日中関係の影響を受けて、中国との協働事業の一部が停滞し、収支に影響を及ぼしている。安定的な事業推進の構築が求められる。
- COVID-19 の影響により事業が停滞し、パンデミック前と比較して 2020 年度から 2023 年度にかけて収支が悪化、協会全体で運転資金が不足する状態となった。財務の健全化に向けた対策が求められる。

### 対処方針

- 応募者過少について、その要因を明確化し、笹川同学会および中国国家衛生健康委員会と連携してコース内容の改善を図ることで、応募の促進および優秀な人材の確保につなげる（安達勇副会長・理事の提案書「第六次笹川医学奨学金制度（案）—『ポストドクターコース』応募者減少への対応案—」）。
- 日中関係の影響による事業停滞の対応策として、中国側との連携の在り方を見直すとともに、常任理事会直属の会議体として新設された中長期ビジョン計画策定委員会において事業構造の見直しおよび持続可能な事業体制の在り方を検討する。
- 運転資金不足に対応するため、中長期ビジョン計画策定委員会において、収支構造の見直しを行い、経費の適正化および収入源の多様化を図るとともに、持続可能な運営体制の確立を推進する。

## 2. 役員等に関する事項

### (1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	小川 秀興	2027. 03. 31	非常勤	95 千円	学校法人順天堂 理事長
理事長	跡見 裕	〃	〃	95 千円	学校法人跡見学園 理事長

副会長・理事	安達 勇	〃	〃	80 千円	
業務執行理事	新井 一	〃	〃	68 千円	
	尾身 茂	〃	〃	73 千円	(公財)結核予防会理事長
	日比 紀文	〃	〃	22 千円	
理事	大友 克之	〃	〃	41 千円	
	沖永 寛子	〃	〃	41 千円	
	角田 徹	〃	〃	41 千円	
	加藤 照和	〃	〃	24 千円	(株)ツムラ 代表取締役社長 CEO
	國土 典宏	〃	〃	24 千円	国立健康危機管理研究機構 理事長
	高折 晃史	〃	〃	24 千円	
	手代木 功	〃	〃	36 千円	塩野義製薬(株) 代表取締役会長兼社長 CEO
	永田 良一	〃	〃	24 千円	(株)新日本科学 代表取締役会長兼社長 CEO
	林崎 良英	〃	〃	36 千円	(株)ダナフォーム 代表取締役
	眞鍋 淳	〃	〃	29 千円	第一三共(株) 代表取締役会長兼 CEO
	宮島 俊彦	〃	〃	36 千円	日本製薬団体連合会 理事長
山下 俊一	〃	〃	24 千円		
退任理事	春日 雅人	〃	〃	29 千円	

注) 報酬等は常任理事会・理事会・評議員会の出席手当・交通手当

## (2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 正義	2029. 03. 31	非常勤	97 千円	
	春日 雅人	〃	〃	39 千円	
退任監事	三宅 養三	2025. 06. 17	〃	41 千円	

注) 報酬等は監事監査・常任理事会・理事会・評議員会の出席手当・交通手当

## (3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	稲垣 暢也	2029. 03. 31	非常勤	12 千円	(公財)田附興風会医学 研究所北野病院理事長
	上坂 克彦	〃	〃	12 千円	
	大曲 貴夫	〃	〃	—	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	緒方 晴彦	〃	〃	12 千円	
	小林 百代	〃	〃	12 千円	

評議員 (続き)	末瀬 一彦	〃	〃	—	
	鈴木 秀和			—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	高木 俊明	〃	〃	—	テルモ(株) 代表取締役会長
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	
	高松 研	〃	〃	12 千円	
	寺本 明	〃	〃	12 千円	
	根本 則道	〃	〃	12 千円	
	服部 信孝	〃	〃	—	
	濱口 欣也	〃	〃	—	
	山田 陽城	〃	〃	17 千円	
退任評議員	一戸 達也	2025. 06. 17	非常勤	12 千円	
	今村 英仁	〃	〃	—	
	大友 克之	〃	〃	12 千円	
	田平 武	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	—	サクラグローバルホールディング(株) 代表取締役会長

注) 報酬等は評議員会の出席手当・交通手当

#### (4) 役員等の報酬等（退任、辞任含む）

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	19 名	842 千円	退任 1 名
監事	3 名	177 千円	退任 1 名
評議員	22 名	149 千円	退任 5 名

### 3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

- 1) 財務基盤の強化のため、常任理事会直属の会議体として「中長期ビジョン計画策定委員会」を新設した。
- 2) 2025 年 4 月からの新公益法人制度への準備として、公益第 57 回理事会（2025 年 12 月 16 日）において公益充実資金等取扱規程を制定した。

以上

2025年度事業報告書  
公益財団法人日中医学協会  
TEL 03-5829-9123  
FAX 03-3866-9080  
発行日 2026年5月18日  
発行人 跡見 裕  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3  
住 泉 K M ビル 6 階